

# 栄冠めざして 北米版

「海外でやっておきたい帰国生大学入試対策」 (2015年12月発行)

## 今しかできないことは何かを知っておこう!

海外で学んでいる高校生が日本の大学を受験する場合、帰国生入試を利用できます。この入試では、海外での在学年数や海外の高校の卒業の有無、各国の大学入学資格試験の合格やスコア(米国ではSATやACT、TOEFLなどのスコア)など、大学ごとに異なった条件を定めています。また、選考方法も国内生の入試とは異なり、秋入学の大学では北米の大学と同様に高校の成績や推薦書、大学入学資格試験の合格やスコアなどの書類審査のみで合格が判定されます。一方、春入学の大学では書類の提出に加え、学科試験が課されるケースが目立ちます。学科試験の科目は大学・学部によって異なりますが、概ね文科系学部では小論文と英語、理科系学部では小論文と数学、理科が課されます。また、多くの大学・学部で面接も行われます。

## 日本語での学力向上は必要不可欠

では、帰国生入試に合格するためには、どのような準備をしておけばよいでしょうか。

まず、日本語での学習がとても大切です。学科試験の科目の多くは日本語で出題され日本語で解答します。面接の質疑応答もほとんどが日本語です。入学後の講義やレポート・論文作成、定期テストなども同様です。日本の大学なので当然とも言えます。帰国生入試は9月初めから始まりますので、高校卒業後の準備期間は約2カ月しかありません。海外にいる今から日本語での学習を始めておかないと間に合いません。小論文の対策には時間がかかります。小論文は作文とは異なり、体験や感想だけではなく自分の意見を述べなければなりません。自分の意見を構築するためには豊富な知識が必要です。

小論文で与えられるテーマや課題文、図表の内容は大学や受験する学部によって異なり、最近の時事問題が提示される大学・学部と学部の専門領域に関する問題が提示される大学とがあります。どちらかというと私立大では前者が多く、国公立大では後者が目立ちます。

時事問題をテーマとする小論文作成のためには、社会で起こっているニュースに目を向ける必要があります。また、現代社会のキーワードとなっているグローバリゼーション、ナショナリズム、福祉国家、労働や貧困、女性の社会進出などに関する知識もほしいです。

一方で学部の専門領域をテーマとする小論文作成のためには、専門領域に関する書籍や雑誌などを積極的に読むことが必要です。学識者の論文を掲載している新書を読むこともよいですが、志望する専門分野に関係がある内容で興味

が持てる書籍を多数読むことをお勧めします。例えば理科系志望者なら科学雑誌、経済系志望者ならば経済誌を読むのもよいでしょう。日本語書籍や雑誌が入手できなければ英語のものを読んでも構いません。まずは知識を増やすことが大切です。また、新聞やテレビなどで報道されている学問領域に関連するニュースもキャッチしておきましょう。

そして、知識を得るだけではなく、書籍に書かれている事象や筆者の意見、キャッチしたニュースについて問題意識を持ち、自分の意見を考えることを習慣づけましょう。それが小論文作成に大切な自分の意見を論ずることのできる力を養うことにつながります。

理科系学部志望者にとっては、数学と理科の学力も必要です。数学や理科は現地校でも学んでいますが、日本の高校の数学や理科の教科書や参考書、問題集に目を通し、そこで使われている日本語の用語や問題の解き方に慣れることが大切です。また、米国の高校では履修していない分野があるかどうかを知っておくことも必要です。

帰国生入試の英語は、TOEFL形式で出題する大学が目立ちますが、中には国内生と同一問題を使用する大学もあります。この場合、日本の大学受験英語＝高校英語を学習せねばなりません。過去の入試問題に目を通し、出題傾向を把握して対策をする必要があります。

## 現地校の学習も入試対策として必要

一方で、現地の高校の成績(=GPA)はどの程度必要なのでしょうか。確かに米国の大学では合格基準となるGPAの数値が示されている場合があります。ただし、日本の大学の場合にはそのような数値は示されていません。書類審査のみの秋入学の大学の選考では高校の成績が重視されるといえますが、春入学の大学ではあまり合否には大きく影響していません。しかし、高校での成績が悪くてもよいかというところではありません。当然卒業に必要な単位が取得できなければ大学受験資格を失いますし、科目ごとの成績を見た際に極端に悪い成績があれば目立つため、面接でそこを指摘されたりします。

また、高校での学習は大学での学習の基礎にもなりますし、社会人としての教養にもなりますのでとても大切です。入試においても小論文作成のために必要な知識にもなりますし、日本の大学の入試問題の数学や理科の問題を解くときにも米国の高校で履修した数学や理科の知識が役に立ちます。さらに高校での学習は帰国生入試に必要な英語力の向上にもつながります。帰国生入試では出願の際にSATやACT、TOEFLなどのスコアが必要となる大学もあります。これらのスコアアップのための英語力を上げるためには高校での

学習が重要です。多様な科目を英語で学習しているのですから、自然に英語力を上げるのには高校の授業や宿題で使った英語を着実に習得することが効率的です。

### 志望大学や学部について知ることも重要

最後に、もう一つ大切なことは、志望する大学や学部のことを十分に理解しておくことです。帰国生入試ではほとんどの大学で面接があります。また、出願書類として「志望理由書」を提出させる大学もあります。なぜその大学や学部に入りたいのかという理由を説得力あるものにするため、志望する大学や学部に関する情報収集をしましょう。大学のウェブサイトを訪問すれば、多種多様な情報がキャッチできます。これも海外にいる今からできることの一つです。

このように米国にいるときからすべきことは多数ありますので、帰国が迫ってから慌てることのないように早めに準備を進めるとよいでしょう。

(河合塾北米事務所 アドバイザー 丹羽 筆人)

## 河合塾海外帰国生コースからのお知らせ

### 多彩な受験対策コース

◆大学受験科帰国生コース<2017年度入試受験予定者対象、2016年6月開講>: 申込受付中！インターネットでのお申し込みが便利です。

◆一時帰国生コース冬期講習<2017年度入試受験予定者対象、2015年12月開講>: 申込受付中！日本語読解＋小論文のコースは間もなく締切。

◆一時帰国生コース夏期講習<2018・2019年度入試受験予定者対象、2016年7月開講>: 3月1日より申込受付開始。お早めにお申し込みください！

◆かわいきこく.pass(Web添削)<2017・2018年度入試受験予定者対象、2015年12月～2016年5月>: 申込受付中！海外で受講可能な小論文や志望理由書対策講座。

\* 上記に関する詳細は、<http://www.kawai-juku.ac.jp/kikoku/>にてご覧ください。

### 入塾審査および入塾資格確認

大学受験科帰国生コースには、2017年度海外帰国生大学入試の受験資格がある方ならば誰でも入塾できます。TOEFL、SATなどの統一試験のスコアは全員に提出いただきますが、入塾審査を行うのは医学部コース、東大理類コース、東大文類・京大コースのみです。また、コース受講に当たって学力試験などを受験いただく必要はありません。

### 入塾金の各種割引制度

大学受験科帰国生コースでは入塾金として5万円が必要

ですが、割引制度がありますのでご案内します。

- ①一時帰国生コース(夏期講習・冬期講習)受講者⇒2万5千円割引
- ②3月31日までに申し込んだ方⇒2万5千円割引
- ③兄弟姉妹が河合塾生(2009～2016年度)⇒1万円割引
- ④補習校・学習塾の校長先生に推薦された方⇒1万円割引
- ⑤2015年度の講演会に参加された方⇒1万円割引

\* ①～⑤は組み合わせ可能です。ただし、上限は5万円です。なお、④を希望する方は、入塾お申し込み前に所属学校の校長先生のご署名をいただいた所定の申込書を北米事務所にお送りください。(申込書をお持ちでない方は北米事務所にご請求ください。)

### スカラシップ制度

大学受験科帰国生コースでは、成績優秀な受験生に対して授業料を減免するスカラシップ(特待・奨学金授与)制度を用意しています。アメリカの方はTOEFLとSATのスコアで、カナダ、メキシコなどの方は現地校の大学受験資格に相当する科目の成績にて審査をさせていただきます。ご希望の方は入塾申し込み時に申請ください。学費を一括払いされる方が対象で、医学部コース、東大理類コース、東大文類・京大コースは最大25万円、一橋大コース、難関国公立大コース、薬・獣医学部コース、早慶上智大コース、早慶上智大＋ハイレベル国公立大・私立大コースは最大10万円を授業料から減免します。

### 少人数クラスと個別指導が充実！

海外帰国生コースでは、少人数での対面授業を行っており、講師が塾生一人ひとりの反応を見ながら授業を進めています。また、講師はフェローというマンツーマンの個別指導も担当しています。授業や自宅学習での質問や小論文の添削指導はもちろん、志望理由書や自己推薦書の書き方も指導します。受験指導はクラス担任が一人ひとりきめ細やかに対応します。他のクラスの担任もすべての生徒の名前を知っているというアットホームな雰囲気もあります。クラス担任は保護者とのコミュニケーションも大切に行っており、定期的に塾生の様子をEメールにてお伝えしています。また、帰国生入試で合格した現役大学生がチューターとして学習相談や受験相談に対応しています。

### 北米事務所へのお問い合わせ

帰国生大学入試対策や弊塾の内容について、日米両国での指導経験のある進学アドバイザーが、きめ細かく対応させていただきます。電話は東部標準時の午前9時から午後9時まで受け付けますが、外出していることも多いので、E-mailでのご連絡をお勧めします。

# 河合塾 学校法人河合塾 海外帰国生コース 北米事務所

Kawaijuku Educational Institution, Returning Students Course, North America Office

41649 Blair Drive, Novi, MI 48377 Tel & Fax : 1-866-460-1023 E-mail : [kikoku@ujec.org](mailto:kikoku@ujec.org) Website : [www.kawai-juku.ac.jp/kikoku](http://www.kawai-juku.ac.jp/kikoku)